

不二精機株式会社

2019年12月期

決算説明資料



2020年3月

おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画、戦略などの記述は、現在入手可能な情報による判断に基づいております。

さまざまな要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

（金額は、百万円未満を四捨五入して記載しております）

2019年12月期実績



2019年度 損益概要(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2018年(前期実績)		2019年(業績予想)		2019年(実績)					
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比		業績予想比	
							増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,149	100.0%	6,902	100.0%	6,593	100.0%	444	7.2%	△309	△4.5%
売上総利益	1,431	23.3%	1,496	21.7%	1,456	22.1%	25	1.7%	△40	△2.7%
営業利益	418	6.8%	396	5.7%	387	5.9%	△31	△7.4%	△9	△2.3%
経常利益	267	4.3%	356	5.2%	342	5.2%	75	28.1%	△14	△3.9%
当期純利益	178	2.9%	270	3.9%	290	4.4%	112	62.9%	20	7.4%

※「業績予想」は2019年11月14日に公表した修正予想値です。

・売上高は、精密金型事業では医療用関連分野を中心に好調な受注が続き、精密成形品事業では自動車用部品が堅調に推移したことにより、前期比4億44百万円増(7.2%増)の65億93百万円となりました。

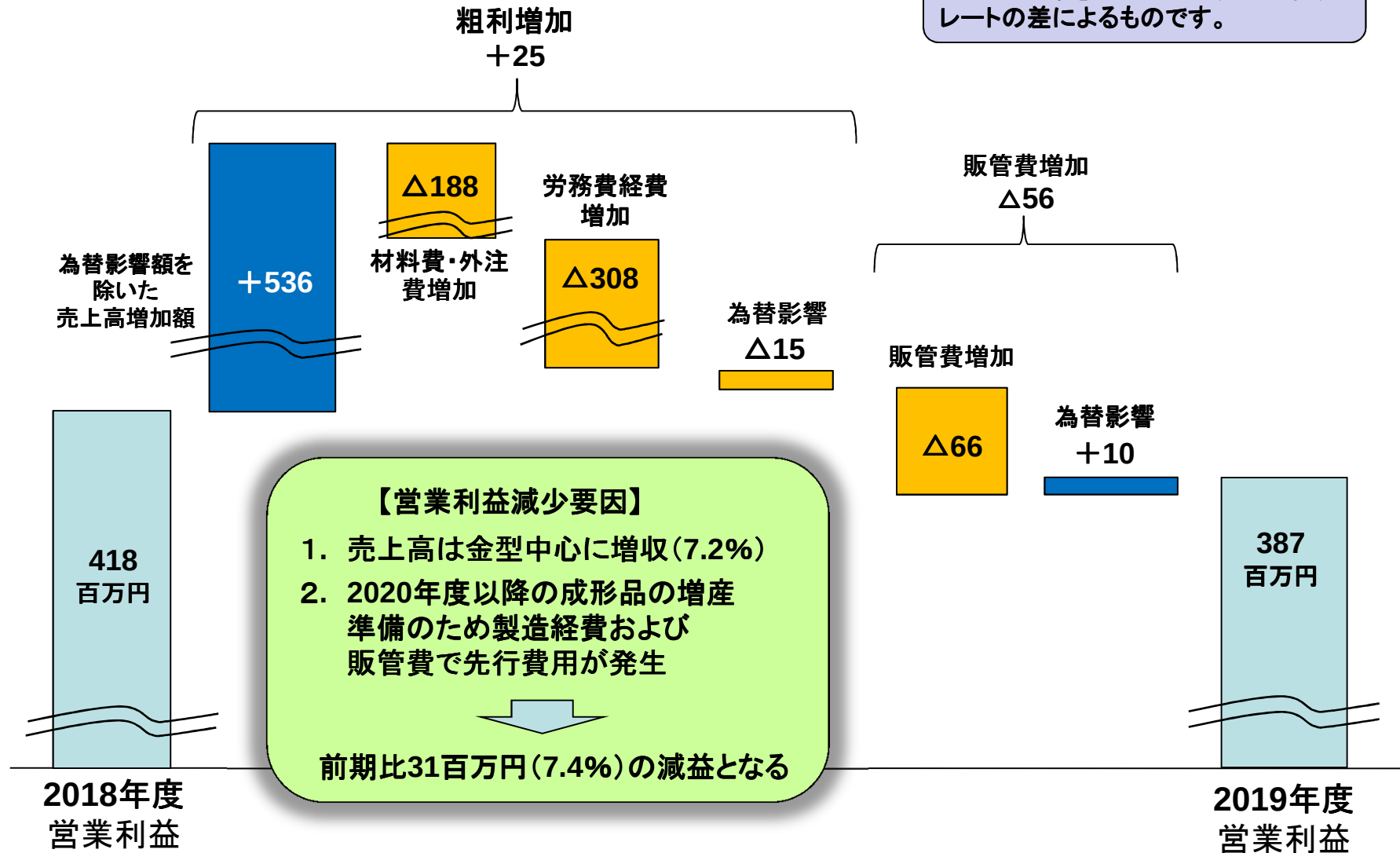
・営業利益は、精密成形品事業での2020年度以降の増産準備のための先行費用の発生などにより、前期比31百万円減(7.4%減)の3億87百万円となり、経常利益は、インドネシア子会社の開業費償却が終了し、為替差損の減少があり、支払利息も減少したことなどから、前期比75百万円増(28.1%増)の3億42百万円となりました。当期純利益は、前期に実施した生産性向上の為の設備投資に対応した旧設備の除却が減少したことなどにより、前期比1億12百万円増(62.9%増)の2億90百万円となりました。

2019年度 営業利益(連結)

～対前期比増減要因

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートによるものです。



2019年度 経常利益(連結)

～対前期比増減要因

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

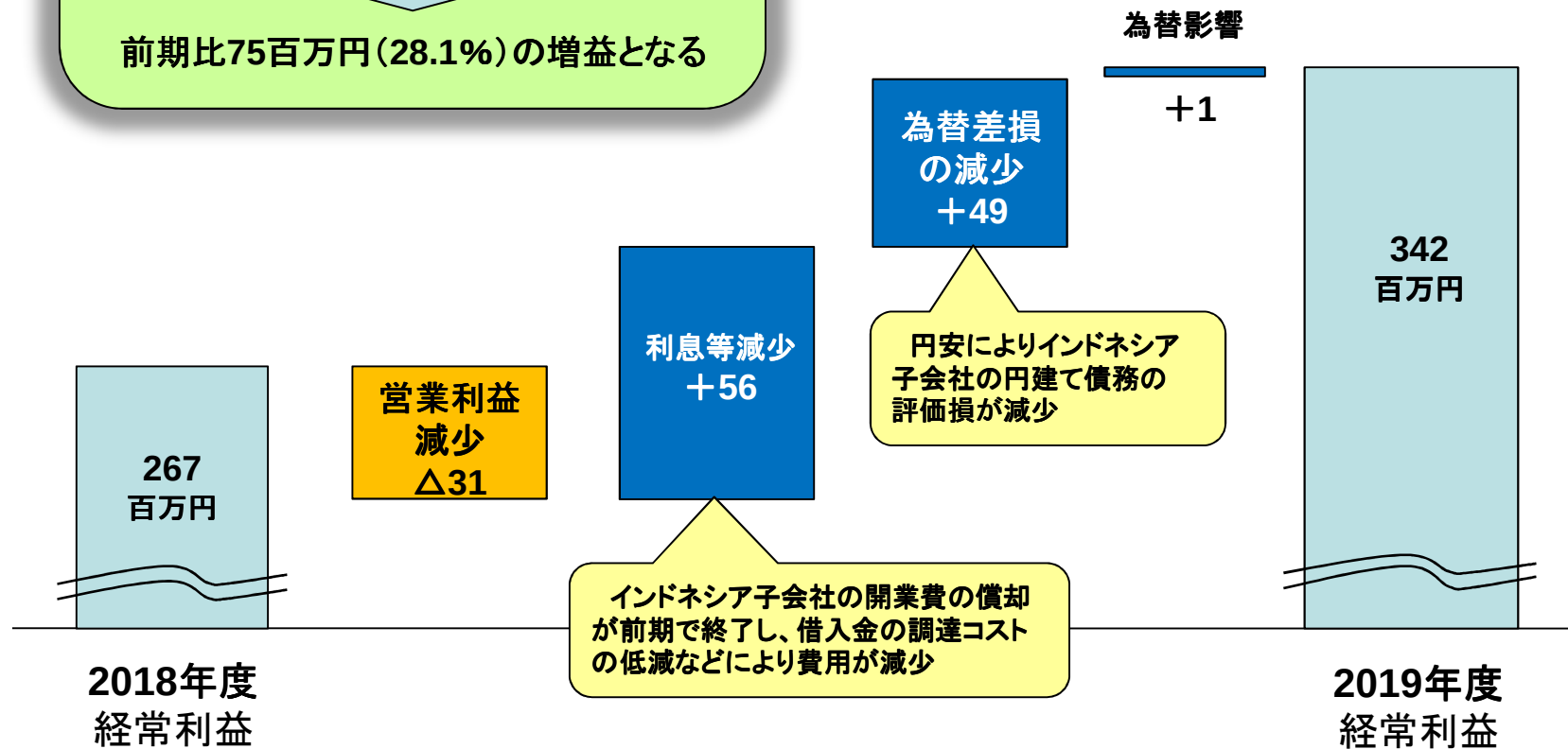
【経常利益増加要因】

1. 営業利益の減少
2. 開業費償却減少と金利負担の軽減
3. 円安による為替差損の減少



前期比75百万円(28.1%)の増益となる

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートによるものです。



2019年度 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

		2018年度(前期)		2019年度			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,387	54.7%	3,315	47.5%	△72	精密金型事業の棚卸資産圧縮
	固定資産	2,805	45.3%	3,670	52.5%	866	増産に向けての設備投資による増加
資産計		6,192	100.0%	6,985	100.0%	793	秋元精機工業のグループ化による増加 468百万円
負債	流動負債	3,123	50.4%	3,349	47.9%	226	短期借入金の増加
	固定負債	1,689	27.3%	1,997	28.6%	308	長期借入金の増加
負債計		4,812	77.7%	5,346	76.5%	534	秋元精機工業のグループ化による増加 387百万円
純資産計		1,380	22.3%	1,639	23.5%	259	利益剰余金の増加
負債・資本計		6,192	100.0%	6,985	100.0%	793	

【取組課題】

- ①売掛債権・棚卸資産の圧縮による有利子負債の削減
- ②利益の蓄積による自己資本比率の向上

2020年12月期予想



☆為替レートの影響について

当社は中国、タイ、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受ける場合があります。

売上高、利益などについては、各連結子会社の2019年度の平均レートを基に2020年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2019年度に発生した為替差損6百万円は上記の処理によるものです)

2020年2月14日公表の業績予想は、下記の各レートにより円換算しておりますが、為替レートの影響で、円換算額が変動する可能性があります。

(1通貨当たりの円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
15.50	3.45	0.0076

☆精密金型事業の受注から売上までについて

当社グループで製造する精密金型の、受注から売上に至るまでの期間は、おおむね5か月程度となっております。

売上の計上は検収基準を採用しており、顧客の検収のタイミングによって売上高に影響が発生する可能性があります。

2020年度上期の精密金型事業の売上高は、1,448百万円を予想しており、前期末の受注残高分および上期中の受注分が順次検収され、売上に計上されることを予想しております。

	受注高(百万円)	前期比	受注残高(百万円)	前期比
2019年度	2,715	93.6%	1,335	86.1%
2018年度	2,901	138.1%	1,550	149.8%
2017年度	2,102	125.8%	1,035	161.1%

2020年度 業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2019年度実績			2020年度予想			2020年度予想の概要
	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	
精密金型事業	2,922	44.3%	23.5%	3,056	41.0%	4.6%	医療用関連分野金型の増加
精密成形品事業	3,671	55.7%	△3.0%	4,391	59.0%	19.6%	インドネシア・秋元精機分の自動車部品の増加
売上高	6,593	100.0%	7.2%	7,447	100.0%	13.0%	
売上総利益	1,456	22.1%	1.7%	1,688	22.7%	15.9%	精密成形品事業での稼働率向上による原価率の改善
販売管理費	1,069	16.2%	5.5%	1,263	17.0%	18.1%	中期的な競争力強化のため研究開発投資実施 61百万円(前期比54百万円増)
営業利益	387	5.9%	△7.4%	425	5.7%	9.8%	増収による売上総利益の増加で研究開発費用 ほかを吸収し増益を予想
経常利益	342	5.2%	28.1%	385	5.2%	12.6%	営業利益の増益により増益
当期純利益	290	4.4%	62.9%	337	4.5%	16.2%	経常利益の増益により増益

【2020年度予想の変動リスク要因】

- ①新型コロナウイルスの世界景気への影響
- ②新興国通貨(インドネシアルピア)の為替変動

直近5年間の業績・財政の推移および2020年度予想

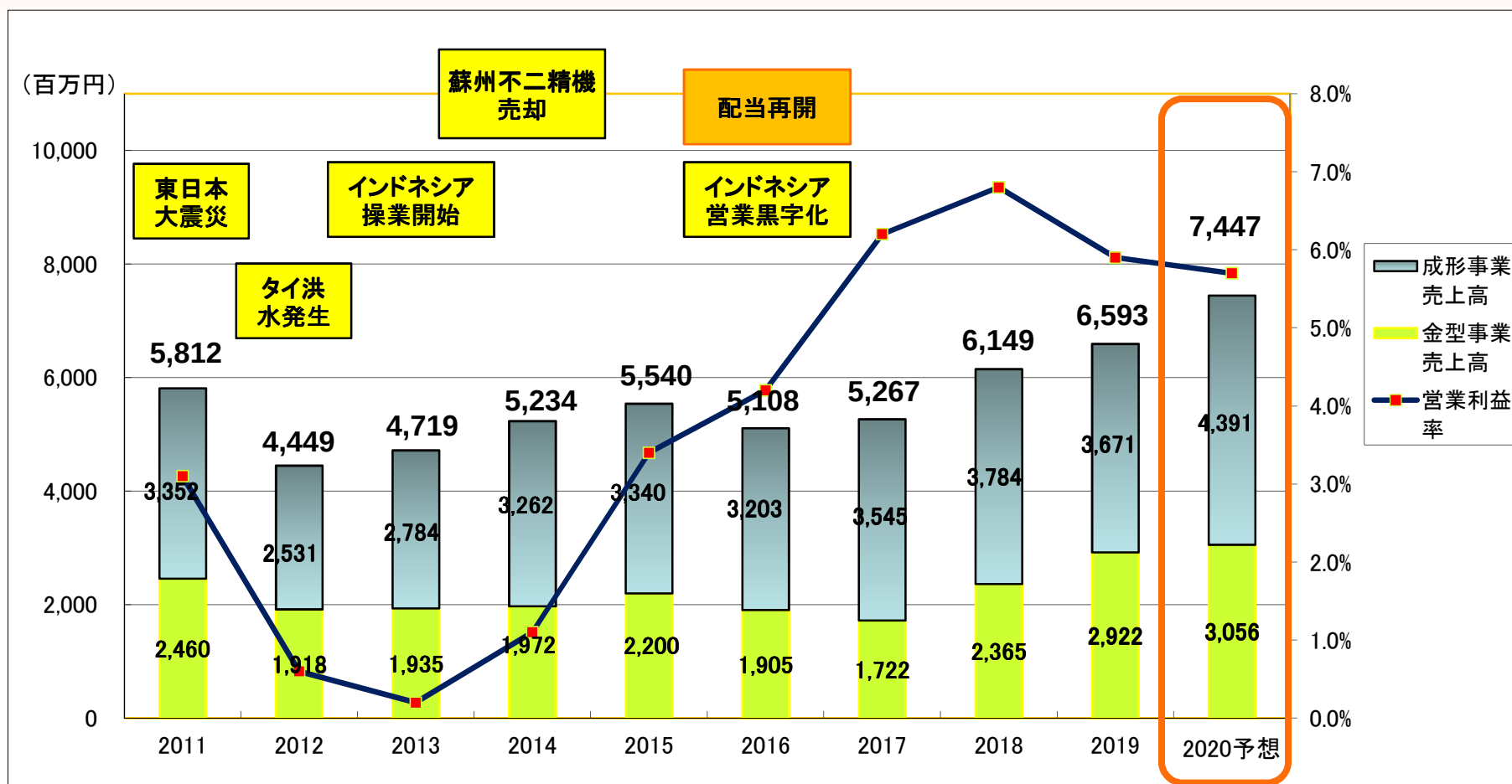
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位: 百万円)

連 結	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年(予想)
売上高	5,540	5,108	5,267	6,149	6,593	7,447
営業利益	189	212	324	418	387	425
営業利益率	3.4%	4.2%	6.2%	6.8%	5.9%	5.7%
経常利益	△53	56	141	267	342	385
当期利益	△64	39	122	178	290	337
1株当たり配当(円)	0.00	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00
総資産	5,951	5,193	6,068	6,192	6,985	7,283
純資産	1,114	877	1,116	1,380	1,639	1,910
自己資本比率(%)	18.7	16.9	18.4	21.8	23.1	26.2
1株当たり純資産(円)	130.77	115.49	147.03	174.48	204.34	242.19
自己資本純利益率(%) (ROE)	—	3.9	12.2	14.5	19.6	19.1
設備投資額	472	292	287	424	837	600
減価償却費	285	288	298	322	345	424

連結業績 推移(主要イベント)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2013年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

2020年度は、インドネシア子会社での増産および秋元精機工業を加えた成形品事業での売上増を計画し、金型事業での堅調な売上もあり、増収増益を予想しております。

配当政策および配当額

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年度において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に1株あたり3円から4円へ増配し、2019年度に1株あたり5円に増配することを株主総会へ提案いたします。

2020年度は、1株あたり5円の配当実施を予想しております。

(単位:円)	2018年度	2019年度	2020年度
	実 績	予 定	予 想
中間期	0.00	0.00	0.00
期 末	4.00	5.00	5.00
年 間	4.00	5.00	5.00

＜2019年9月12日付で 秋元精機工業をグループ化しました＞



＜接点プレス部品＞



■会社概要

- ・社名 秋元精機工業株式会社
- ・住所 横浜市都筑区大熊町
- ・資本金 10百万円(当社100%)
- ・設立 1964年2月25日
- ・事業 板金プレス加工ほか
- ・顧客 自動車部品関係メーカー

当社グループでは、祖業である精密金型技術の競争力を活かした精密成形品事業を2001年の上場以降、新規事業として東南アジア市場を中心に展開しております。当社グループの中期方針として、精密成形品事業の売上高の約70%を占める自動車(2輪・4輪)関連部品のさらなる受注拡大による経営の安定化を目指しております。

パワートレイン(エンジン、モーター)に左右されない部品の受注拡大に向けて、従来の樹脂成形品に加え、精密金属部品を金型内にインサートして樹脂成形する「インサート成形品」などの新たな製品開発を進めております。

グループ化した秋元精機工業株式会社は、1964年の会社設立以来、精密プレス加工用の金型設計・製作と板金プレス部品、インサート成形品、絞り板金プレス部品などの製造の経験を有し、自動車関連業界の顧客を主要取引先としております。自動車関連業界での品質管理レベル・価格・納期に対応し、安定的な受注を確保しております。

秋元精機工業株式会社の精密プレス加工に関連する技術・ノウハウと当社グループの技術・海外ネットワークを結合することによって、今後ますます重要度が増すと思われる「インサート成形品」の受注に対する競争力が大幅に高まり、当社グループの中期方針である自動車関連部品を中心とした精密成形品事業の拡大に資するものと考えております。

＜2020年2月10日 高知宿毛工場の開設を発表しました＞



■工場概要

- ・名称 高知宿毛工場
- ・住所 高知県宿毛市平田町
(高知西南中核工業団地内)
- ・操業 2022年12月開始予定
- ・業務 金型設計、金型部品加工
- ・用地 既存の不動産取得
(2020年3月契約:上部写真)

当社の精密成形品事業の競争力の源泉となる精密金型の日本国内での製造は、注射器などの医療用品用および自動車関連部品用を中心に、1972年に開設した愛媛県東温市の松山工場で実施しております。

今回開設する新工場は、今後さらに技術者人材の採用が困難になることが想定される中で、高知県内の人材を安定的に確保することを目指す拠点と位置づけ、業務内容としては松山工場との連携のもと、第一段階でCADを使用した金型設計業務の一部を実施し、第二段階で金型の部品加工を実施することによって精密金型事業の納期対応力および収益性の向上を目指します。

新工場開設に当たり高知県企業立地課のご支援により、高知県宿毛市との企業進出協定を2020年2月18日に締結し、高知県企業立地促進事業費補助金の交付が決定しております。

2020年3月に既存の不動産(土地4,600㎡、建物590㎡)を取得し、地元で採用した社員の研修を松山工場で実施後、2021年の試験操業を経て2022年12月に本格操業を開始することを予定しております。

今後、長期的に高知県および宿毛市のご協力のもと、地元からの優先雇用を図るなど、地域経済の振興に資する活動を実施して参ります。

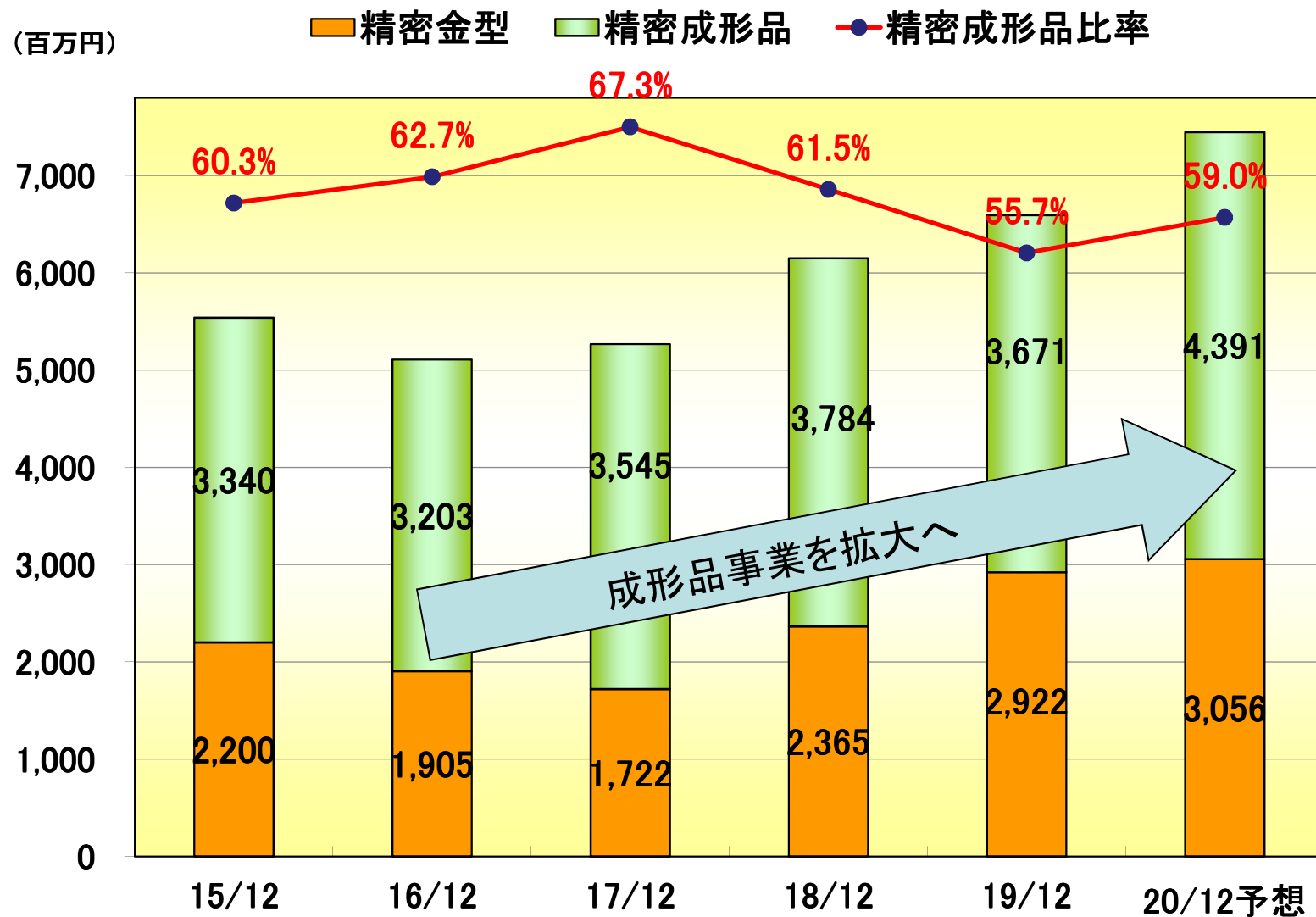
ご参考

1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品（精密金型、精密成形品）



セグメント別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

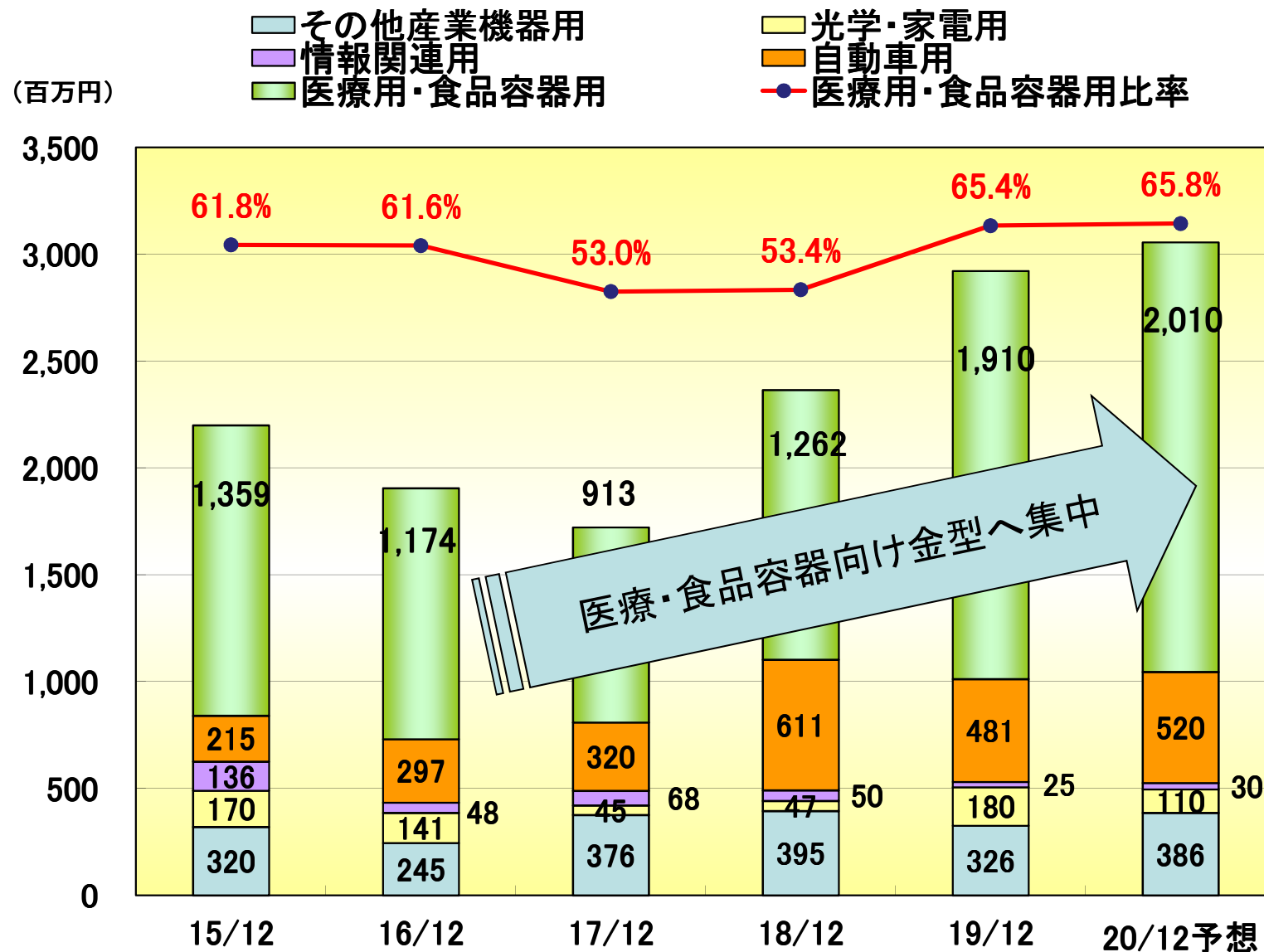


精密金型事業 / 分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER

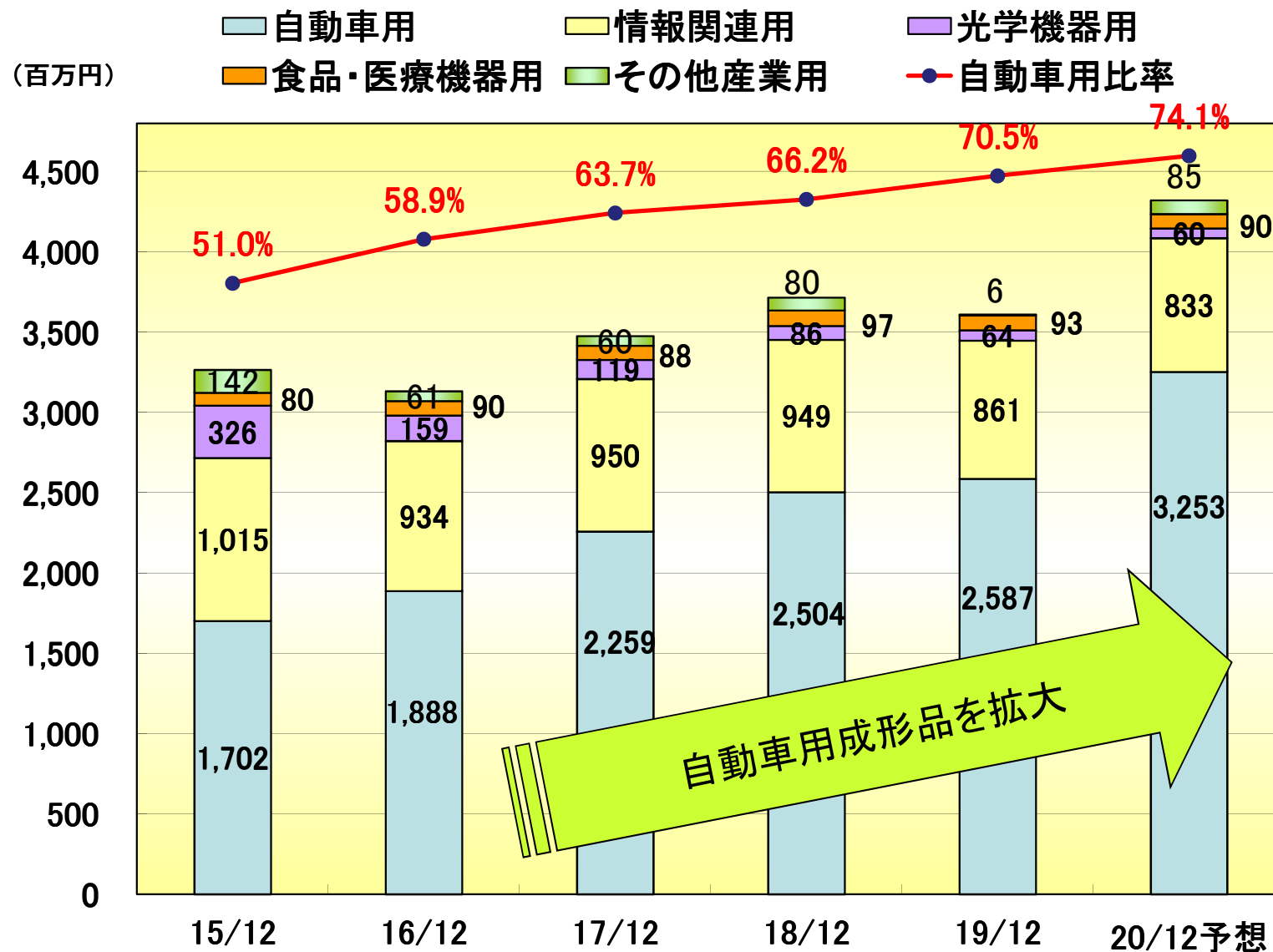
FUJI

SEIKI



精密成形品事業 / 分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

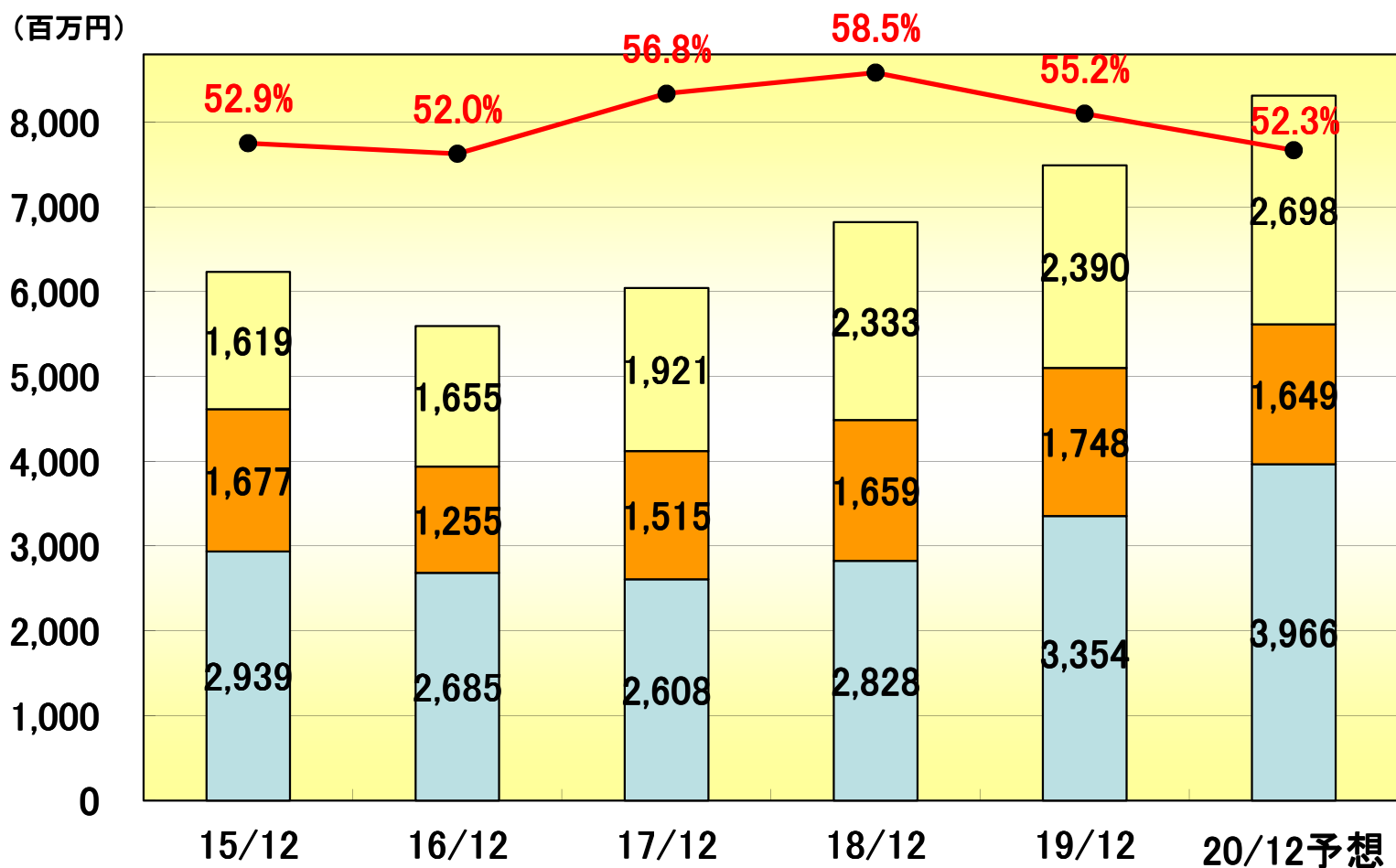


地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

日本 中国 タイ・インドネシア 海外売上比率

東南アジア
市場を拡大



(グループ内売上含む)

不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

不二精機グループ 520名

国内勤務者126名

金型事業

生産拠点2工場

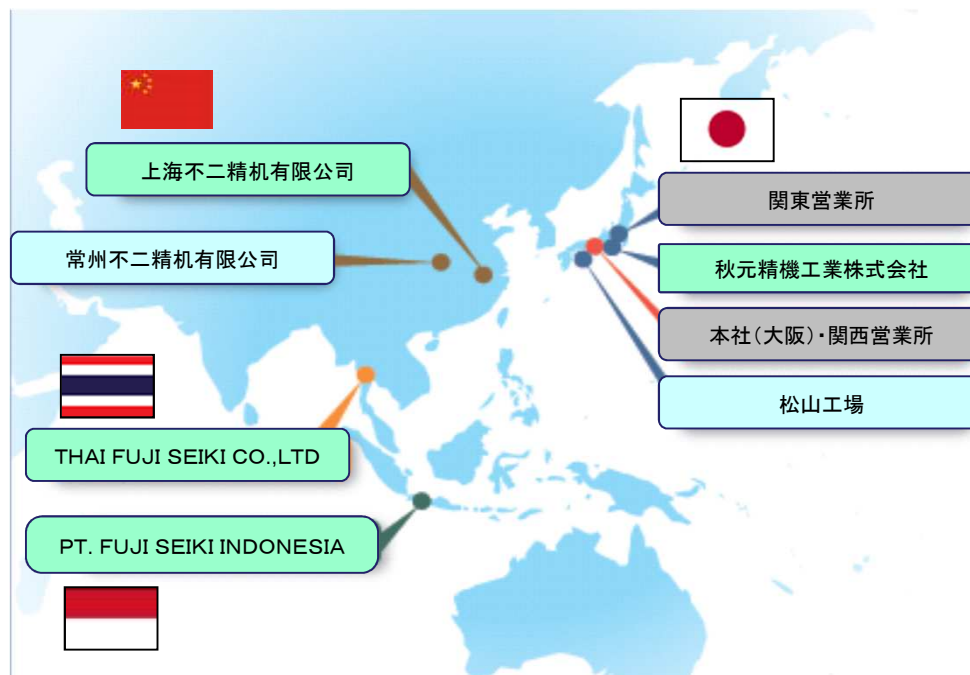


■松山工場

118名



■常州不二精机有限公司



営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)
関西営業所



■関東営業所

成形事業

生産拠点4工場

22名



■秋元精機工業株式会社

74名



■上海不二精机有限公司

108名



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

94名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

主要製品(精密金型事業)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

医療機器用金型



食品関連金型



情報関連金型 など



主力の自動車関連部品

